

高 監 委 第 2 1 号
平成 2 7 年 8 月 1 7 日

高 島 市 長 福 井 正 明 様

高 島 市 監 査 委 員 井 口 與 嗣 隆

高 島 市 監 査 委 員 前 川 勉

平成 2 6 年 度 高 島 市 財 政 健 全 化 審 査 意 見 書 お よ び 経 営 健 全 化 審 査 意 見 書 の 提 出 に つ い て

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項および第 2 2 条第 1 項の規定により、審査に付された平成 2 6 年 度 高 島 市 健 全 化 判 断 比 率 お よ び 資 金 不 足 比 率 な ら び に そ の 算 定 の 基 礎 と な る 事 項 を 記 載 し た 書 類 に つ い て 審 査 し た 結 果、次 の と お り 意 見 書 を 提 出 し ま す。

平成 26 年度高島市財政健全化審査意見書

1 審査の概要

この財政健全化審査は、市長から提出された健全化判断比率およびその算定の基礎となる事項を記載した書類が適切に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下記、健全化判断比率およびその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適切に作成されているものと認められる。

記

(単位：%)

健全化判断比率	平成 26 年度	平成 25 年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	—	—	12.58
② 連結実質赤字比率	—	—	17.58
③ 実質公債費比率	12.1	13.4	25.0
④ 将来負担比率	90.7	113.6	350.0

(2) 個別意見

① 実質赤字比率について

一般会計等の実質収支額の合計は 918,678 千円の黒字であり、前年度に引き続き実質赤字は発生していなかったことから、比率は「—」となる。早期健全化基準と比較してもこれを下回り良好な状態であると認められる。

② 連結実質赤字比率について

連結実質収支額の合計は 3,182,086 千円の黒字であり、前年度に引き続き連結実質赤字は発生していなかったことから、比率は「—」となる。早期健全化基準と比較してもこれを下回り良好な状態であると認められる。

③ 実質公債費比率について

一般会計における公債費および特別会計に係る公債費負担をもって算出された実質公債費比率は 12.1% で前年度に比べ 1.3 ポイント改善しており、早期健全化基準の 25.0% と比較するとこれを下回っていることから、良好な状態にあると認められる。

④ 将来負担比率について

将来負担比率は 90.7% で、前年度に比べ 22.9 ポイント改善しており、早期健全化基準の 350.0% と比較するとこれを下回っていることから、良好な状態にあると認められる。

平成 26 年度高島市公営企業会計に係る経営健全化審査意見書

1 審査の概要

この経営健全化審査は、市長から提出された資金不足比率およびその算定の基礎となる事項を記載した書類が適切に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下記、資金不足比率およびその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適切に作成されているものと認められる。

記

(単位：%)

会計名		平成 26 年度	経営健全化基準	備考	
資金不足比率	法適用	水道事業会計	—	20.0	
		病院事業会計	—	20.0	
		介護老人保健施設事業会計	—	20.0	
	法非適用	下水道事業特別会計	—	20.0	
		農林業集落排水事業特別会計	—	20.0	

(2) 個別意見

資金不足比率について

公営企業における法適用企業会計は、いずれも資金不足は発生していなかったことから、比率は「—」となる。なお、各会計の剰余額は、水道事業会計では 705,094 千円となり、前年度に比べ 34,816 千円の増加、病院事業会計では 1,470,968 千円となり、前年度に比べ 76,614 千円の減少、介護老人保健施設事業会計では 56,642 千円となり、前年度に比べ 18,013 千円の減少となっている。

また、法非適用企業の下水道事業特別会計および農林業集落排水事業特別会計についても、剰余額が生じている。

この比率は、公営企業の資金不足額を、公営企業の事業規模と比較して指標化し経営状況の深刻度を示すものであるが、全ての会計において資金不足額が生じていないため、国の示す基準からみて、健全な範囲を維持している。